

河津町熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行要領

(目的)

第1条 近年の夏季における猛暑日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に係る経費に関し、現場管理費率の補正をすることで、工事における熱中症対策の推進を図るとともに、実態に合った積算を行うことを目的とする。

(対象工事)

第2条 河津町が発注し、主たる工種が屋外作業となる土木工事標準積算基準書の工種区分を適用する土木工事、港湾工事積算基準書の工種区分を適用する港湾・漁港工事、土地改良事業等請負工事積算基準（平成5年2月22日付け5構改D第49号）、土地改良事業等請負工事積算基準〔施設機械〕（平成12年3月24日付け12構改D第238号）の工種区分を適用する農地工事及び森林整備保全事業設計積算要領（平成12年3月31日付け12林野計第138号）の工種区分を適用する森林工事を対象とする。

(用語の定義)

第3条 この要領における用語の定義は次のとおりとする。

- (1) 「真夏日」とは、日最高気温が30℃以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合とする。
- (2) 「工期」とは、工事着手から工期末前の受発注者間で協議した日までの期間をいう。なお、工期に年末年始を含む工事では年末年始休暇分として6日間、7月、8月又は9月を含む工事では夏季休暇分として3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。
- (3) 「真夏日率」とは、工期期間中の真夏日を工期で除した割合をいう。

真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

(発注)

第4条 対象工事は、熱中症対策に資する現場管理費率の補正に関する特記仕様書を添付して発注し、受発注者間協議により適用可能とする。

(気温の計測方法等)

第5条 受注者は、施工計画書に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載する。

- 2 計測方法は、工事現場から最寄りの気象庁の地域気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（以下「WBGT」という。）を用いることを標準とする。WBGTを用いる場合は、WBGTが25℃以上になる日を真夏日と見なす。ただし、森林工事において暑さ指数は用いないこととする。
- 3 施工箇所が点在する工事へ適用する場合は、主工事の施工箇所の最寄りの地域気象観測所の気温又は暑さ指数を用いる。

- 4 前2項による計測方法が不適切である場合は、あらかじめ監督員と協議の上、気象業務法（昭和27年法律第165号）に基づき気象庁以外の者が行う気温の計測結果又は工事現場を代表する1地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法により得られた気温の計測結果を用いることも可とする。
- 5 計測資料の取得又は計測に要する費用は受注者の負担とするものとする。
- 6 森林工事について、第2項から第4項による計測の結果（工事現場を代表する1地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法により得られた気温の計測結果を除く。）は、次の算定式により補正を行うものとする。ただし、気象条件又は現場条件により次の算定式によりがたい場合は、監督員と協議の上、補正方法を決定するものとする。

補正後の気温（℃）＝気温（℃）－標高差（m）×0.6／100（m）

標高差（m）＝工事現場の標高（m）－計測箇所の標高（m）

- (1) 補正後の気温は、小数点第2位四捨五入1位止めとし、標高差の値は、小数点第1位四捨五入整数止めとする。
 - (2) 気温計の高さがわかる場合は計測箇所の標高に加算する。
- 7 受注者は、監督員と事前に協議した提出期日までに真夏日率及び補正値を算出し、別記様式及び熱中症対策を実施した写真を発注者に提出するものとする。
（積算方法等）

第6条 現場管理費率の補正は、受注者より提出される別記様式に記載される補正値を現場管理費率に加算することで行うこととする。なお、補正は最終変更契約において行うものとし、補正値の算定は、次によるものとする。

補正値（％）＝真夏日率×1.2

- 2 「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合」及び「緊急工事の場合」による現場管理費率の補正を重複して適用する場合の補正値の上限は、全ての補正値を合計して2.0%とする。
- 3 真夏日率及び補正値は、小数点以下3位を四捨五入して、2位止めとする。
- 4 施工箇所が点在する工事については、点在する箇所ごとに補正を行うことができるものとする。
（その他）

第7条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は町長が別に定める。

附 則

この要領は、令和7年4月1日以降に発注する工事から施行する。

別記様式（第5条、第6条関係）

別記様式		令和 年 月 日		
<h2 style="margin: 0;">真夏日率等算定表</h2>				
工事名：				
受注者：				
現場代理人：				
<p>熱中症対策に資する現場管理費率の補正に関する特記仕様書に基づき、真夏日率等を下記の通り算出したので、提出します。</p>				
項目	細目	数量	単位	備考
工期：	工事着手日			
	計測完了日			
	工事中止期間等		日	年末年始6日、夏季休暇3日 工場製作、全面中止期間等
	工期		1 日	①
	真夏日（暑さ指数）：		0 日	② 算出根拠から自動出力
	真夏日率：		0	=真夏日②÷工期①
	補正值：		0 %	=真夏日率×1.2
<p>※黄色ハッチ部を記入 ※マニュアルを参照すること ※自動で出力される値は参考である。</p>				